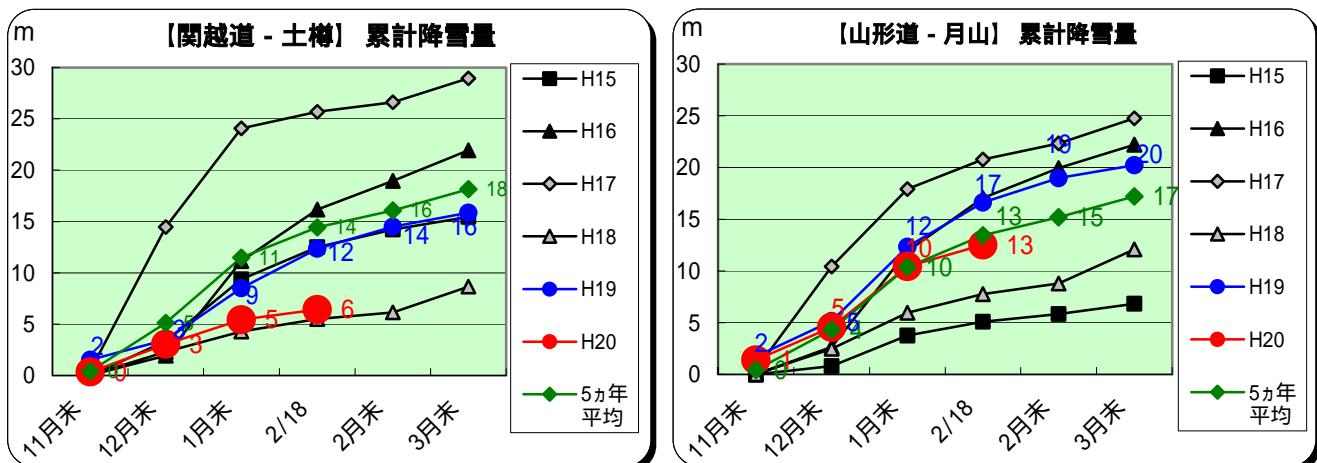


降雪の影響について

1. 降雪量

2月18日までの累計降雪量は、過去東日本管内で一番の降雪を記録した関越道の土樽で約6mであり、昨シーズンの同時期の累計降雪量(約12m)と比較して約50%、過去5ヵ年平均(H15～H19)の同時期の累計降雪量(約14m)と比較して約45%となっています。また、山形道の月山では約13mであり、昨シーズンの同時期の累計降雪量(約17m)と比較して約75%、過去5ヵ年平均の累計降雪量(約13m)と比較して同程度となっています。



2. 降雪などによる通行止実施状況

雪による通行止量()は、平成20年11月1日から平成21年2月18日までの間で、約47,900km・hとなり、雪の影響による通行止の少なかった平成18及び19年度の同期間の通行止量とほぼ同程度、5ヵ年平均値の約45%となっております。

通行止量

通行止を実施した区間距離に通行止時間率を乗じた通行止の絶対量を表す指標。

$$\text{通行止量 (km} \cdot \text{h}) = \text{通行止区間距離 (km)} \times \text{通行止延べ時間 (h)}$$

通行止量による対比 <速報値>

